

# やりのゆりであえ



◆頑張っている人物やグループを  
広報編集委員が紹介します。担当/久保さきみ

「大蛇藤」で知られる香我美町舞川地区は過疎化が進み住民7人の寂しい限界集落。思い出のふるさとに足を運んでほしいと「大蛇藤ふれあい運動会」を、毎年開催している実行委員会の奮闘ぶりと朝まで降り続いた雨に、開催が危ぶまれた当日の様子を取材しました。

## 大蛇藤ふれあい運動会

### 実行委員会



### 香南市内から30km

市中心部から車で出発。ハンドルを右に左に切りながら、くねくね道を走る。約50分。新緑の中にひっそりと建つ旧北部小中学校に着くと、「よう来たねえ」と迎えてくださった実行委員会代表の小松光広さん(73)。この地区に住む一番の若手です。学校が休校になった昭和57年を最後に、やっつては休みの運動会を5年前から、藤の花の時期に合わせて行っています。

### 心の通うメンバーたち

実行委員会のメンバーは約15人で、地区の出身者や縁者、たまたま呼ばれた人もいます。ポスター作りや競技種目を検討しながらプログラムの作成、資金に重要な奉加帳の準備など協力し合いながら進めました。競技ごとに渡す参加賞は、山菜、野菜、日用品などが袋詰めになれ準備万端。長老たちは、「ナタ」を器用に使う竹を割り、競技用の小物を手作りしていました。

### 山里を思う

母親が教員として赴任していた頃に3年ほどこの地で過ごしたことがあるという女性は、毎年手伝いに来るそう



「山には何もなければ、溢れればかりの人情があります。ここは私の第二のふるさとです」と話され、和気あいにとした雰囲気は、景色や空気が相まって心が「ほこ」とする瞬間でした。

### 参加者も準備を手伝って

雨の影響で時間と種目などに変更があったものの、メンバー以外の多くの方々も運営に協力。小松さんの「普段はイノシシの親子が運動会をしています。今日はみなさんが主役です」との挨拶で競技が始まりました。「よなへの縄ない」では見事な手さばきを披露する高齢者に拍手が起りました。昔の装束を、リレーでモデルに着せ付ける「昔はこれぞよ」に使った衣装は、女性たちの手作りです。ぬかるんだ足元を気にしながら珍プレー、好プレーの続出。約150人の参加者たちの大きな歓声と笑顔が広がっていました。

### ここにしかない魅力を求めて

「フィナーレ」を終えると、両手いっぱいに参加賞を抱えた人たちの「また来年もここで会おうね!」との約束がこちらこちらで聞かれました。

8月には「あめこのつかみ取り」も計画中とのこと。また山あいに、にぎやかな歓声が戻ってくることをしよう。



### 編集後記

▼取材の帰り道、行きと違う道を通ってみた。塀の横でまどろむネコ、風にゆれるバラの花、煮魚のにおい…。こんな当たり前の風景が何だかとても心地よく、スキップでもしたい気分になった。(猪)

▼初めて参加した舞川の運動会。娘を連れて新緑香る山里で心地よい汗を流してきました。ゆったりした時間の中で無理をしない競技に老若男女の笑顔が輝いた一日。フラインガー越しにこちらも笑顔に。気がつけば競技に参加した娘がたたくさんの景品を持って瞳を輝かせていました。(m)

▼18ページのモデルは、歌手の「うぐみ」さんです。東日本大震災の被災地で、チャリティーコンサートを開催。被災者や活動する自衛隊員に「歌のチカラ」で希望と笑顔を送りました。私たちは「言葉のチカラ」で、これからも皆さんに元気を送り続けます!(S)

▼写真撮影でヤ・シイパークに行ってきました。この日のお天気は快晴!青い空、青い海を前に、なんだかテンション上がり気味の私。良い写真が撮れてホッとするのもつかの間、大事な撮影道具が浜辺へ置き去りに…。暑い中探しに行ってくれたSくん、ありがとう。(あ)

《広報へのメール》

kouhou@city.kochi.konan.lg.jp  
《香南市のホームページ》  
http://www.city.kochi-konan.lg.jp